

# 平成28年度小松島市事務事業評価シート

<b>■事業の位置づけ（基本事項）</b>				<b>整理番号</b>	5 - 2 - 17
<b>事務事業名</b>	葬斎場建設事業			<b>担当課係</b>	市民生活課 環境企画・公害担当
<b>総合計画上の位置付け</b>	<b>大項目</b>	6. 「街が輝く」		<b>記入担当者</b>	
	<b>中項目</b>	①快適に暮らせる生活基盤の整備		<b>内線等</b>	
	<b>小項目</b>	5. 生活関連施設の整備		<b>E-mail</b>	
<b>事業の実施主体</b>	市（委託・補助事業含む）			<b>事業区分</b>	臨時事業
<b>事業予算費目</b>	<b>款</b>	4	衛生費	<b>項</b>	1 保健衛生費
	<b>目</b>	4-94	葬斎場費・葬斎場費（繰越明許費）	<b>事業</b>	5 葬斎場建設事業
<b>開始年度</b>	平成 25	<b>年度</b>	根拠法令・要綱等	墓地、埋葬等に関する法律、小松島市葬斎場の設置及び管理に関する条例	

<b>事業の対象</b>	（誰の、何のために事業を実施するのか） 火葬を行おうとする者
<b>事業の目的</b> （意図）	（事業実施によってどういう状態にしたいのか） 老朽化した既存葬斎場を建替え、高齢化社会の進展に伴う火葬件数の増加及び大規模な震災等が発生した場合の適切な対応等、市民のニーズに応えることができる施設を整備する。また、施設の管理運営を最適な方法で行えるようにする。
<b>事業の内容</b> （内容・手法等）	（どういった仕事の内容で、どのような手法・手順で実施しているか） 葬斎場建設のための各工事を発注し、工事を行う。また、葬斎場の管理運営について検討し、業者選定等を行う。
<b>事業の背景</b> （経緯等）	（事業開始の背景やこれまでの経緯） 葬斎場の建替えについて説明会等を開催し、市民の合意形成を図り、都市計画決定を行った。平成28年5月より本体工事に着手し、平成29年2月の臨時会議にて平成29年5月末までの工期の延伸を承認いただき、平成29年7月から供用開始した。

## ■事務事業の業績・推移（目標・実績）

成果指標	指標名		指標の説明				指標化できない成果		
	単位	\	H27	H28	H29	H30		目標年度 目標値	
			目標						
			実績						
達成度									
活動実績・参考となる指標	指標名		単位	\	H27	H28	H29	H30	指標の説明
	用地取得率	%		計画	100				葬斎場建設事業に必要な土地の取得
				実績	100				
	葬斎場建設工事総合評価審査会 議日数	日		計画	2	0			建設工事の総合評価落札方式に係る落札者決定基準案の作成・評価
				実績	2	1			
	葬斎場運営に係る事業者選定会 議日数	日		計画	1	3			管理運営業者に係る仕様書・募集要項・評価基準等の決定、審査
実績				0	2				
			計画						
			実績						

## ■事務事業に係るコストの業績（目標・実績）

（単位：円）

		27年度決算	28年度決算	28年度予算	29年度予算		
全体コスト（円）	A	直接事業費		88,062,247	416,488,055	420,147,000	660,383,000
	財源内訳	国県支出金					
		地方債		67,000,000	369,900,000		
		利用者負担					
		一般財源		21,062,247	46,588,055		
	B	人件費 ①×②		5,613,005	4,422,560		
		職員平均人件費①	7,016,256	6,803,939			
	従事した割合②/人	0.80	0.65				
	A + B		93,675,252	420,910,615			
単位コスト	活動指標の説明					備考	
	活動指標1 単位当たりコスト					平成27年4月1日現在 人口39,866人	
	市民一人あたりのコスト		2,350	10,694		平成28年4月1日現在 人口39,358人	

■事業を取り巻く環境

国・県・他団体の動向や環境変化と今後の予測	(社会状況、法改正、規制緩和、周辺状況等や今後の予測) 他の自治体においても施設の老朽化や増加する火葬需要に対応するため、建替えや改築等を行っている。また、施設の管理運営について、民間委託や指定管理者制度の導入を検討する自治体が増えてきている。
事業に対する住民の意見	(意識調査・議会質疑等、事業に対する期待・要望・苦情など) 工事は周辺環境に配慮して行い、早期の完成に努めてもらいたい。

■項目別評価・今後の課題

評価項目	評価結果 (該当にチェック)	判断理由・評価コメント (具体的に記入すること)
必要性 (市民ニーズ)	<input type="radio"/> ① 必要性が高い	火葬場は社会生活において必要不可欠な施設であるが、現施設は老朽化が著しいため早期の建替えが必要である。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば必要性がある	
	<input type="radio"/> ③ 必要性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必要性がない	
妥当性 (市で行わなければならないか)	<input type="radio"/> ① 市が行わないといけない	火葬場の経営は法令で宗教法人や社会福祉法人等に限られるため民間業者が参入しづらい。また、周辺自治体による火葬の受け入れにも限度があるため、本市において施設を整備する必要がある。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば市で実施	
	<input type="radio"/> ③ 必然性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 必然性がない	
効率性 (事業の手法は効率よいが、コスト削減の余地はないか)	<input type="radio"/> ① 効率的である	工事の発注についても、専門家等による選定会議(総合評価審査会議)を設置し、価格のほか技術的能力等を有する業者を選定する。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば効率的	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば非効率的	
	<input type="radio"/> ④ 非効率的	
緊急性 (他事業に優先し、実施する必要があるか)	<input type="radio"/> ① 緊急性が高い	施設が老朽化していること、また、これまで平成29年度供用開始を掲げてきた経緯もあることから予定通り事業を進めていく必要がある。
	<input type="radio"/> ② 比較的緊急性がある	
	<input type="radio"/> ③ 緊急性が低い	
	<input type="radio"/> ④ 緊急性はない	
成果 (目的の達成状況)	<input type="radio"/> ① 成果が上がっている	本体工事に着工し、工期内の完成を目指した。新葬斎場の管理運営は指定管理者が行うこととし、公募型プロポーザル方式により指定管理者の選定を行い、議決を経て指定した。
	<input type="radio"/> ② どちらかといえば上がっている	
	<input type="radio"/> ③ どちらかといえば上がっていない	
	<input type="radio"/> ④ 成果は上がっていない	
今後の課題	平成29年度は旧葬斎場の解体工事及び駐車場整備工事を実施することとしている。	

■一次評価 (評価点は目安とし、総合的な評価をすること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	80 点 以上	評価点による判定	判定に至った理由
		2 現 状 の ま ま 継 続 す る	60 ~ 79 点		
4		3 改 善 ・ 効 率 化 し 継 続	40 ~ 59 点	86	新葬斎場は平成29年7月より供用開始となった。平成29年度は、当初予算で計上している解体工事及び駐車場整備工事の年度内終了を目途に事業推進を図る。
		4 終 期 設 定 し 終 了	20 ~ 39 点		
		5 完 了 ・ 休 止 ・ 廃 止	19 点 以下		
				1	

■改善・効率化の方向性 ※一次評価の判定が3の時は、必ず記入すること。

【具体的な改善等取組内容(方向性・対象・手段等について記述)】
---------------------------------

■二次評価 (所管担当の一次評価を、総合評価し判定すること)

評価	事務事業の方向性	1 拡 充 す る	判定説明
		2 現 状 の ま ま 継 続 す る	
4		3 改 善 ・ 効 率 化 し 継 続	市民は新しい施設を心待ちにしてきた経緯があり、指定管理者には民間事業者ならではのきめ細かなサービスの提供を通じて、利用者に安心感を与えるような施設運営を心掛け、業務に当たっていただきたい。
		4 終 期 設 定 し 終 了	
		5 完 了 ・ 休 止 ・ 廃 止	